

III. 刊行報告書抄録

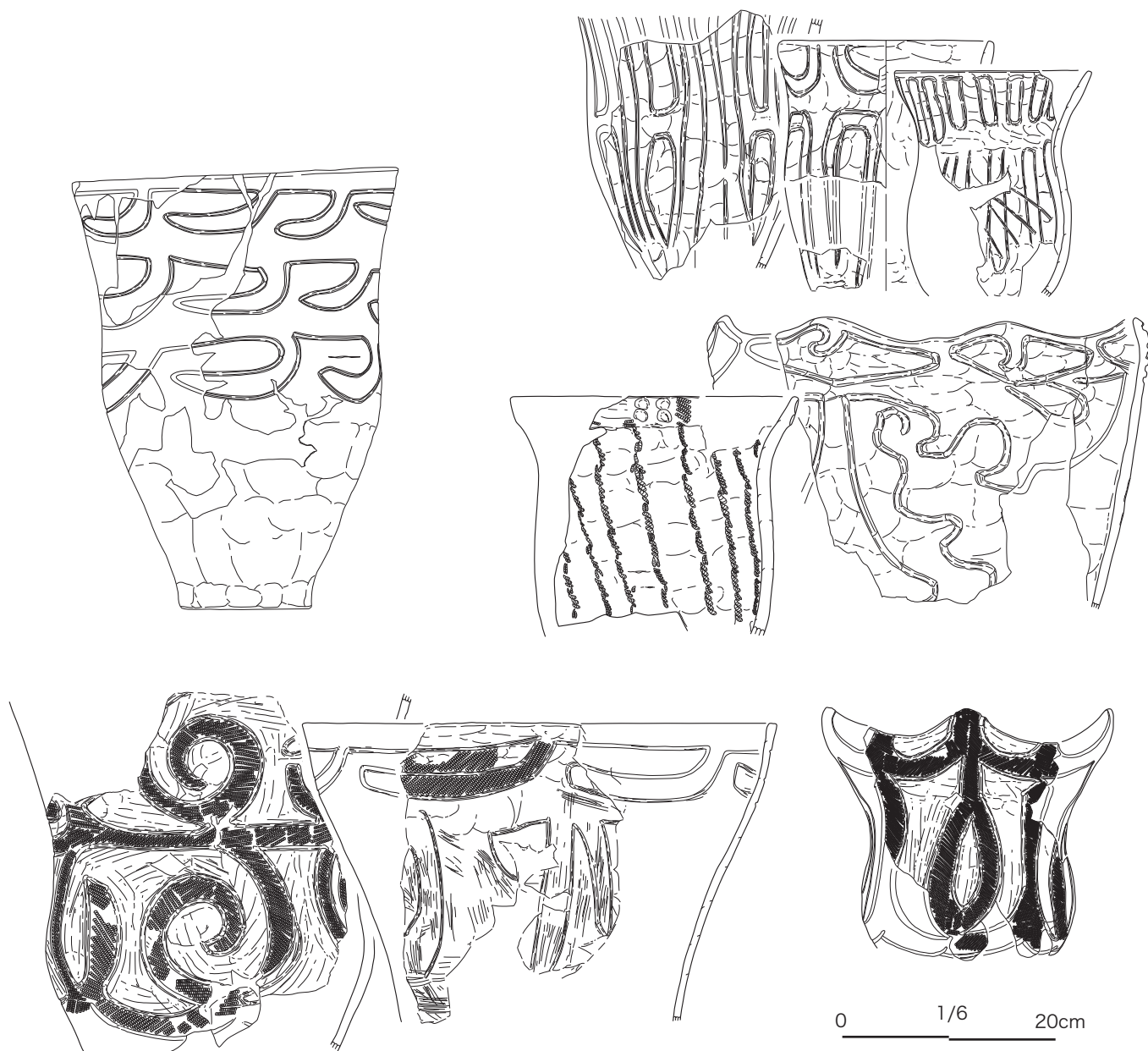
第211集 西地・東地遺跡

設楽ダム関連事業に伴い、近年、各遺跡で発掘調査が継続して行われている。発掘調査では、話題性のある様々な新たな発見があり、これまでも本誌に掲載されてきた。本報告は、本格的な整理調査を経て、その成果を公開・刊行する第1冊目となった。

調査は平成26・28年度の2回にわたって行われた。総調査面積は4,560㎡、総出土コンテナ数は238箱である。

西地・東地遺跡では、縄文時代後期初頭を主体とする、竪穴建物と貯蔵穴などの土坑群で構成される集落跡が見つかった。出土遺物も土器・石器が多量に出土し、特に植物質食糧を加工するための磨石・敲石類や石皿・台石類の卓越した出土量が注目される。こぶし大ほどの黒曜石の石核の出土や、下伊那地域との関連性が考えられる土器の出土など、当地は当時の活動の場として、中心的な役割を果たしていたものと考えられる。

(川添和暁)



西地・東地遺跡出土 主要土器

報告書抄録

ふりがな	にしじ・ひがしじ							
書 名	西地・東地遺跡							
副 書 名								
巻 次								
シリーズ名	愛知県埋蔵文化財センター調査報告書							
シリーズ番号	第211集							
編著者名	川添和暁、鈴木正貴、堀木真美子、森 将志、小林克也、バンダリ スダルシャン、佐々木由香、山形秀樹、中村賢太郎、伊藤 茂、安昭炫、佐藤正教、廣田正史、小林紘一、Zaur Lomtadze、Ineza Jorjoliani（株式会社 パレオ・ラボ）、井上 巖（株式会社 第四紀地質研究所）							
編集機関	公益財団法人 愛知県教育・スポーツ振興財団 愛知県埋蔵文化財センター							
所在地	〒498-0017 愛知県弥富市前ヶ須町野方802-24 TEL0567(67)4161							
発行年月日	西暦 2019年 3月 31日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村 遺跡番号		北緯	東経	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
にしじ・ひがしじいせき 西地・東地遺跡	あいちけんきたしたらぎん 愛知県北設楽郡 したらちようおおなぐら 設楽町大名倉	23561	700152	35度 11分 14秒	137度 54分 36秒	2014.05.19～ 2016.12.8	4,560	設楽ダム 工事関連 事業
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
西地・東地遺跡	集落	縄文時代	竪穴建物跡、炉跡、 埋甕、貯蔵穴など土坑、 土器埋設遺構		縄文土器、土製品 石器、石製品		後期初頭を主体と する集落跡	
		古代			須恵器・灰釉陶器			
		中世・戦国期 ～近世	竪穴状遺構、炉跡、 土坑、 埋葬遺構		瀬戸・美濃産陶器、 石器、鉄滓、 人骨、キセル、銅銭		野鍛冶関連遺構	
文書番号	発掘届出(26埋セ第5号 2014.4.8、 28埋セ第35-1号・第35-2号 2016.7.1) 通知(26教生第237号 2014.4.8、 28教生第1161号 2016.7.14) 終了届・保管証・発見届(26埋セ第108号 2015.1.23、 28埋セ第78号 2016.12.14) 鑑定結果通知(26教生第3226号 2015.3.31、 28教生第2906号 2016.12.22)							
要約	寒狭川東岸の緩斜面上に立地している本遺跡では、縄文時代、古代、そして中世・戦国期から近世にかけての遺構・遺物が調査された。そのなかでも、竪穴建物跡と土坑群で構成される、縄文時代後期初頭主体の集落跡が全面調査されたことは、特に注目される。一括廃棄された遺物群の存在もさることながら、出土土器の遺構・包含層の形成状況と出土遺物との対比を行えたことは、今後の縄文時代集落研究に寄与するデータとなろう。中世・戦国期から近世にかけては、野鍛冶関連の遺構群が見つかっており、山間部での活動の様子が窺えられる好資料となった。							

第212集 岡山南遺跡

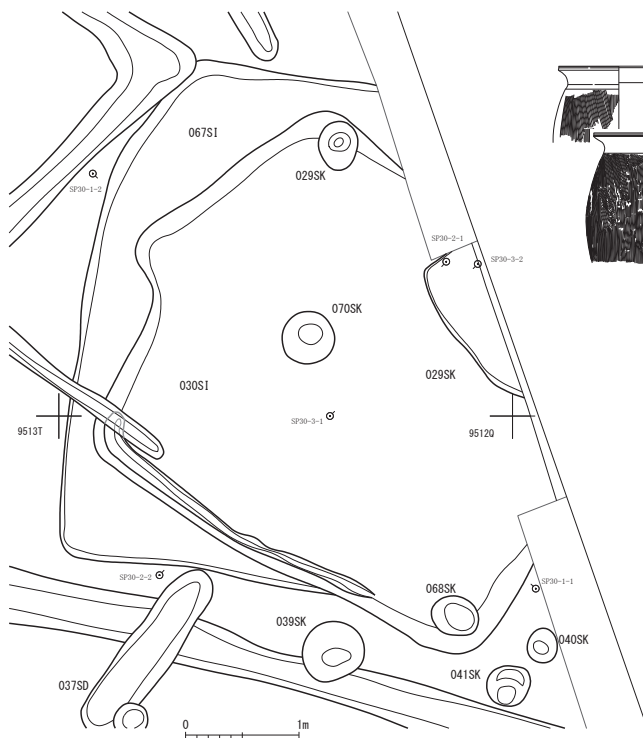
西尾市吉良町に所在する岡山南遺跡は、矢作川下流域の沖積低地に立地する。遺跡のすぐ北側には幡豆山塊から西へのびた丘陵部の先端付近、通称「岡山」があり、この丘陵上には弥生時代中期に成立した環濠集落である中根山遺跡や、古墳時代に続く砦山遺跡、若宮古墳群などの遺跡が知られている。

調査により弥生中期後半の土器や古墳時代前期の竪穴建物を含む遺構群が検出され、また古墳時代後期から平安時代の溝・井戸・建物跡などが展開する集落域の一端が確認された。これらの資料は沖積地への開発の進展を具体的に示すものであり、立地の異なる岡山丘陵上の遺跡群との関連性が注目される。

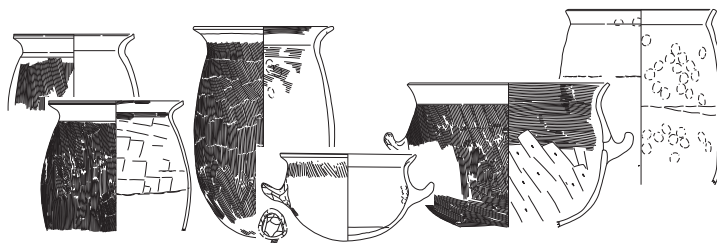
(武部真木)



岡山南遺跡 16E区033SU出土 土器



岡山南遺跡 11B区古代竪穴建物030S1



岡山南遺跡出土の古代の土器 甕・鍋類



岡山南遺跡 16D区090SK出土 鍋

報告書抄録

ふりがな		おかやまみなみいせき						
書 名		岡山南遺跡						
副 書 名								
巻 次								
シリーズ名		愛知県埋蔵文化財センター調査報告書						
シリーズ番号		第212集						
編著者名		武部真木(編)・宮腰健司・池本正明・鈴木正貴・樋上 昇・鬼頭剛・藤根 久・米田恭子						
編集機関		公益財団法人 愛知県教育・スポーツ振興財団 愛知県埋蔵文化財センター						
所在地		〒498-0017 愛知県弥富市前ヶ須町野方802-24 TEL0567(67)4161						
発行年月日		西暦 2019年 3月 31日						
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村 遺跡番号		北緯	東経	調査期間	調査面積 m ²	調査原因
おかやまみなみいせき 岡山南遺跡	あいちけん にしおし 愛知県西尾市 きらちょう 吉良町	23213	590016	34度 50分 15秒	137度 04分 38秒	2011.12.～ 2012.2. 2012.04.～07. 2015.06.～09. 2016.08.～12.	4,100	道路改良 工事
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
岡山南遺跡	集落	古墳時代 ～ 平安時代 鎌倉時代 江戸時代	掘立柱建物跡、 溝、井戸、土坑等 自然流路跡		土師器、須恵器、石器、 灰釉陶器、山茶碗、 瀬戸・美濃窯産陶器、 木製品、金属製品、 石製品等		下層自然流路で 古墳時代木製品 を検出	
文書番号	発掘届出 (23埋セ第92号,2011.10.5/第180号,2012.3.23/27埋セ第1-1号,2015.4.7/28埋セ第38号,2016.7.6) 通知(23教生第1604号,2011.10.12/24教生第178号,2012.4.10 /27教生第171号,2015.4.20/28教生第1262号,2016.7.19) 終了届・保管証・発見届(23埋セ第164号,2012.3.1/24埋セ第66号,2012.8.6 /27埋セ第72号,2015.9.14/28埋セ第74号,2016.11.21) 鑑定結果通知(23教生第2897号,2012.3.23/24教生第1246号,2012.8.22 /27教生第1745号,2015.10.5/28教生第3355号,2017.2.15)							
要約	本遺跡は矢作古川の下流左岸域、岡山丘陵の南側の沖積地に立地する集落遺跡である。丘陵上に展開した弥生時代集落遺跡や古墳群との関連性が注目されており、調査では弥生土器や古墳時代前期から中期の土師器・木製品など多様な遺物が得られた。低地部の開発が始まっていたこと、また飛鳥・奈良時代から平安時代に営まれた集落の一端が明らかとなった。							

